

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年12月25日

施設名	青少年体育館	所管課室	教育委員会 生涯学習課
-----	--------	------	-------------

1. 施設の概要

指定管理者名	特定非営利活動法人高知県青年会館
指定期間	平成24年4月1日～27年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成26年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生スポーツ教室 ・初心者スポーツ教室 ・スポーツ大会・教室(ドッジボール・バレーボール・バスケットボール) ・地域自主クラブスポーツ活動支援 など
施設内容	<p>青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。</p> <p>利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要:</p> <p>1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1,500席</p>
職員体制	職員:館長1名 館長補佐1名 指導員3名 事務員1名 合計:6名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務

2. 収支の状況

		H25年度(決算)	H26年度(決算)	H27年度(予算)
収入	県支出金	36,937,948	38,023,120	38,025,000
	事業費収入	706,080	679,590	493,000
	収入計	37,644,028	38,702,710	38,518,000
支出	事業費	442,858	450,161	432,000
	管理運営費	16,333,621	16,048,972	16,215,000
	人件費	19,038,368	19,249,817	19,018,000
	消費税	1,829,181	2,953,760	2,853,000
	支出計	37,644,028	38,702,710	38,518,000
使用料収入		4,347,500	4,217,850	4,337,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
団体数	1,485	1,387	1,521	1,688	1,575	1,531

(2) 利用者数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
人数	66,691	57,810	67,267	66,994	65,964	64,945

4 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学生を対象にした「小学生スポーツ教室」は、施設の看板行事の一つとして、地域住民に浸透している。 ○県外大学へ出向き、直接PRを行うなど、利用拡大に取り組んでいる。 ○大学の実習生を受け入れ実習指導を行うなど、大学との連携に努めている。 ○継続利用団体への職員訪問や、利用団体へのお礼のはがき送付などを通じて、施設利用のリピーター確保につなげている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員の指導力向上を図るため、小学生スポーツ教室等の講師を行っている。 ○トレーニング室に、女性や高齢者の利用が増加していることをうけ、いの町と共催でトレーニング教室の実施を行った。 ○地域自主クラブの練習時には要請に応じて、指導員が指導するサービスを行っている。 ○幼稚園や小学校の遠足で雨天時の利用や休憩・昼食時の観客席開放など、利用状況等を考慮しながら、利用者ニーズに柔軟に対応している。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ローテーション職場ならではの引き継ぎミスがないように、連絡事項は業務日誌に記載し、職員間で連絡を密にして業務に当たっている。 ○トレーニング室で、正しい機器の使い方の指導を行っていることから、利用者のマナーが向上し、機器の安全が保たれている。 ○アリーナ内の巡回を行い、安全で清潔な状態を保つように取り組んでいる。また、清掃、電球の交換、施設敷地内の草刈りや施設周辺のコンクリート壁のコケを取り除くことなどを職員自らが行うことで、経費節減に努めている。
④利用実績	○平成25年度と比較して、利用団体数は113団体減少、利用者数は1030人減少した。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度と比較して、使用料収入は129千円の減収となった。 ○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に1,880円返還) <p>平成25年度決算額 38,702,710円</p>
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者として仕様書どおりの適正な管理が行われている。 ○各スポーツの専門スタッフを配置し、利用者の指導にあたるなどニーズに対応している。 ○利用者の増加に向けて、施設の設置目的を踏まえ、特色のある新たな主催事業の企画や、地元や周辺市町村へのさらなるPRへの取り組みを期待する。 ○利用の多いトレーニング室の利用者向けの講座については、大学など外部の専門家と連携した事業展開を期待する。 ○今後、指定管理者が運営する隣接の宿泊施設との連携や職員の能力向上に向けた取り組みを一層進めるとともに、青少年教育施設として担うべき役割を充実していくための方向性を明確に打ち出し、仕様書の内容以上の成果をあげ、より魅力的な施設となることを期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの